

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

平成29年度分

日独共同大学院プログラム
(Japanese-German Graduate
Externship)

申請書

受付番号 (記入不要)			
分科		分科細目 コード	
細目			
審査領域(総合領域・複合新領域の申請者のみ選択)	1. 人文学 5. 工学	2. 社会科学 6. 生物学	3. 数物系科学 7. 農学 4. 化学 8. 医歯薬学

1. 申請プロジェクト名等

プロジェクト名 (和文)(40字以内)			
(英文)			
申請経費総額(単位:千円) 千円未満は切り捨てる			千円
日本側構成員数	教員等(コーディネーター含む)	名	大学院学生 名
ドイツ側構成員数	教員等(コーディネーター含む)	名	大学院学生 名

【申請大学(研究科)名等】

大学(研究科)名(和文)

(英文)

大学(研究科)長氏名

職 印

【日本側コーディネーター】

フリガナ (姓) (名)

氏名(漢字)

ローマ字 (姓) (名)

最終学位 (専門分野)

所属大学・職

大 学 名(和文) (コード)

(英文)

研究科名(和文) (コード)

(英文)

職 名(和文) 1. 教授 2. 准教授 3. 講師 4. 助教 5. その他 ()

(英文)

所 在 地 (〒 -)

電話番号

ファックス番号

Email

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

【ドイツ側申請大学 (研究科) 名等】

大学 (研究科) 名 (和文)

(英文)

大学 (研究科) 長氏名

【ドイツ側コーディネーター】

(ファミリーネーム)

(ファーストネーム)

(ミドルネーム)

氏 名 (英文)

所属大学・職

大 学 名 (英文)

(和文)

研究科名 (英文)

(和文)

職 名 (英文)

(和文)

所 在 地

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

2. 日本側大学の概要

(1) 当該専攻又は専攻の組み合わせにおける教員数 (常勤のみ)

(各年度 5 月 1 日現在)

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	(備考)
教授	人	人	人	
准教授	人	人	人	
講師	人	人	人	
助教	人	人	人	

(2) 当該専攻又は専攻の組み合わせにおける在籍者数及び学位授与状況

(博士課程 3 年間 (一貫制の場合は博士課程後期)。医、歯、獣医学についてはこれらに相当する 4 年間。)

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	(備考)
博士課程 (後期) 入学定員	人	人	人	
博士課程 (後期) 入学者数	人(人)	人(人)	人(人)	
うち、他大学出身者数	人(人)	人(人)	人(人)	
博士課程 (後期) 在籍者数	人(人)	人(人)	人(人)	
課程博士授与数	人(人)	人(人)	人(人)	
論文博士授与数	人(人)	人(人)	人(人)	

注. 1) 右側の () は内数で外国人留学生数

2) 博士課程 (後期) 在籍者数は、各年度 5 月 1 日現在

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

【日本側教員等】 名 (日本側コーディネーターを除く。)

氏名 (フリガナ)	職名	学位	取得年	所属専攻名・専門分野

【日本側大学院学生 (平成 29 年度)】 名 (特定できない場合は参加予定者数のみでも可)

氏名 (フリガナ)	所属専攻名・専門分野

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

3. ドイツ側大学の概要

(1) 当該専攻又は専攻の組み合わせにおける教員数 (常勤のみ)

(月 日現在)

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	(備考)
教授	人	人	人	
准教授	人	人	人	
その他の教員	人	人	人	

(2) 当該専攻又は専攻の組み合わせにおける在籍者数及び学位授与状況

(月 日現在)

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	(備考)
博士課程入学者数	人(人)	人(人)	人(人)	
博士課程在籍者数	人(人)	人(人)	人(人)	
博士授与数	人(人)	人(人)	人(人)	

注. 右側の () は内数で外国人留学生数

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

【ドイツ側教員等】 名 (ドイツ側コーディネーターを除く。)

氏 名	職 名	学 位	取 得 年	所 属 専 攻 名 ・ 専 門 分 野

【ドイツ側大学院学生 (平成 29 年度)】 名 (特定できない場合は参加予定者数のみでも可)

氏 名	所 属 専 攻 名 ・ 専 門 分 野

4. プロジェクトの目的・重要性

(1) プロジェクトの目的

※ 該当する研究分野及び申請機関における大学院の教育研究の現状とその問題点を踏まえ、プロジェクトの必要性及び当該機関における位置づけを記入してください。

(2) プロジェクトの重要性

※ 該当する研究分野の国内外における動向及び研究者育成における問題点等を踏まえ、当該研究分野においてドイツと共同で教育研究を行うことの重要性を記入してください。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

5. 申請の経緯 (当該日独大学の組み合わせの理由)

(1) 専攻の特色 (日本側大学) ※独自性、多様性、国際競争力等の観点から記入してください。

(2) 専攻の特色 (ドイツ側大学) ※独自性、多様性、国際競争力等の観点から記入してください。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

(3) 共同教育研究の実績等

※ 日独当該大学間、又はそれぞれの教員等によるこれまでの共同研究、教育研究交流の実績を挙げながら具体的に記入してください。

(4) 当該日独大学の組み合わせの理由

※ (1)～(3)の経緯を踏まえ、当該ドイツ側大学を選定した理由を明確に記述してください。

6. 実施期間における目標及び実施計画

(1) 実施期間における目標

※ 本事業による経費支給期間（最長 5 年間）終了時の到達目標。「4. プロジェクトの目的・重要性」を踏まえ、大学院における教育研究及び若手研究者育成の観点から具体的に記入してください。

(2) 日独共同の教育研究体制

※ 日独のコーディネーター及び教員等の役割を明記した上で、構築しようとしている共同教育研究体制の概念図も描いてください。必要な場合、概念図のみ本頁後 1 頁以内で挿入して下さい。

(3) 日独共同教育研究体制の将来構想

※ 本事業における経費支給期間（最長5年間）終了後、構築した日独共同教育研究体制を如何に維持・発展させていくかについて記入してください。

(4) 日独共同の課程（カリキュラム）の内容

※ 実験、講義、単位認定の考え方など具体的に記入してください。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

(5) 年次計画 大学院学生及び教員等の派遣・受入、セミナーの開催

※ 支援額算定の参考とするため、具体的かつ「11. 経費」との関連性がわかる形で記入してください。

【1年目】

【2年目】

【3年目】

【4年目】

【5年目】

(6) 期待される成果

※ 本事業による経費支給期間終了時に期待される成果を、学会での共同発表、質の高い博士論文への貢献等、大学院における教育研究の観点から記入してください。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

7. 日独相互の受入体制 ※裏付けとなる協定等の写しを添付してください。

(1) 共同学位の授与、単位互換、授業料不徴収等の制度、教育研究設備（実験室等）の準備状況を記入してください。

(2) 宿舎等の整備状況・提供可能性、研究室・事務組織における英語の通用度、メンター制度の準備状況について記入してください。

8. 日本側コーディネーターの教育研究業績等

(1) 教育・研究歴

(2) プロジェクトに関連する分野での教育研究業績

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

(3) 国際研究交流活動実績及び本申請課題との関係

- ① 日本側コーディネーターが、本会の国際交流事業^{注1)}を現在実施中、あるいは過去5年間(平成24年度～平成28年度)に実施されたプログラムで研究代表者等を務めたことがある場合には、それらの事業全てを記入してください。

※ 該当のない場合には「該当なし」と記入してください。

[事業名・課題名・交流相手国・採用期間・役割(研究代表者、コーディネーター、スピーカー等)を全て記入してください。]

- ② これまでの国際的な研究交流活動の実績(①を含む)と本プロジェクトとの間に関連性がある場合は具体的に記入してください。特に、過去に本事業に採択されたことがある申請機関が、当該採択内容と類似点が多いプロジェクトにつき再申請を行う場合には、過去のプロジェクトによる成果を記載するとともに、本申請のプロジェクトにより見込まれる新たな成果についても記載して下さい。

注1) ここで言う本会の国際交流事業とは次の通り。

二国間交流事業(共同研究・セミナー)、特定国派遣研究者事業、日中医学交流事業、アジア学術セミナー、国際共同研究事業(スイスとの国際共同研究プログラム(JRPs)、国際共同研究教育パートナーシッププログラム(PIREプログラム)、欧州との社会科学分野における国際共同研究プログラム(ORAプログラム)、多国間国際研究協力事業(G8 Research Councils Initiative)、国際化学研究協力事業(ICCプログラム)、災害からの回復力強化等に関する領域横断的研究協力事業)、日中韓フォーサイト事業、日独共同大学院プログラム、先端科学(FoS)シンポジウム、リンダウ・ノーベル賞受賞者会議派遣事業、HOPEミーティング、先端研究拠点事業、アジア研究教育拠点事業、アジア・アフリカ学術基盤形成事業、研究拠点形成事業、論文博士号取得希望者に対する支援事業、外国人研究者招へい事業、国際研究集会、若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム(ITP)、組織的な若手研究者等海外派遣プログラム、頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム、頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム、若手研究者ワークショップ(ブラジル)

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

(4) 研究業績：主な発表論文名・著書名（和文又は英文）

※ 以下の項目についてコーディネーターが中心的な役割を果たしたもののみ項目に区分して記載してください。コーディネーター名にはアンダーラインを付してください。

以下、点線枠内は削除可。

- (a) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文または著書（査読の有無を区分して記載すること。査読がある場合、印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く。）
著書（コーディネーターを含む著書全員の氏名を、論文と同一の順番とする）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入すること。
- (b) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記入すること）
著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載すること）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載すること。発表者に○を付すこと。
- (c) 国内学会・シンポジウム等における発表：（b）と同様に記入すること。
- (d) 受賞歴や学協会における役職等については、受賞歴、学協会名、役職名、該当年等を記入すること。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

9. 日本側教員等の教育研究業績 (コーディネーターを除く。)

※ 研究業績、教育業績別に記入してください。研究業績については、最近5か年に発表した主な学術研究論文・図書について、教員等ごとに5件以内・発表年次の順に記入(和文又は英文)してください。また、教育業績については、学内外の活動を問わず、参考になる事例があれば記入してください。日本側教員等の数が多い場合は、中核となる研究者を抽出して記入してください。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

10. 他制度での助成等の有無

- ① 申請機関が他制度で機関支援型事業^{注2)}の助成を受けている（または見込みの）場合、今回申請の本事業との関連性があるときには該当する事業名及びプロジェクトとそれらの事業との相違点を記入してください。
- ② 日本側コーディネーター及び主な教員等について、他制度から助成等を受けている場合（申請中及び申請予定のものを含む）、主なものを記入してください。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。
- ③ 助成プログラム名ごとに、研究課題名、研究資金の額、研究期間、本人の役割（代表者、共同研究者等）を明記してください。
- ④ コーディネーターが実施中の本会国際交流事業については、8. (3)で記入してください。

(1) 申請機関が受けている（あるいは申請している）機関支援型事業の助成（本事業との相違点も記入すること。）

(2) 日本側コーディネーターの受けている助成等

(3) 日本側教員等の受けている助成等

注2) 機関支援型事業とは、研究者個人に交付される研究費等ではなく、研究機関に対して助成される事業です。世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI プログラム)、大学の世界展開力強化事業等が挙げられます。また、本会国際交流事業の中では、「日独共同大学院プログラム」、「研究拠点形成事業」、「日中韓フォーサイト事業」、「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム」及び「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」が該当します。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

11. 経費

(1) 日本学術振興会から交付を希望する経費

概算総額： 千円

	平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	計画	経費(概算)	計画	経費(概算)	計画	経費(概算)
日本側大学院学生	外国旅費(人/日数) 人/日	外国旅費 千円	外国旅費(人/日数) 人/日	外国旅費 千円	外国旅費(人/日数) 人/日	外国旅費 千円
	国内旅費(人/日数) 人/日	国内旅費 千円	国内旅費(人/日数) 人/日	国内旅費 千円	国内旅費(人/日数) 人/日	国内旅費 千円
	小計①	千円	小計①	千円	小計①	千円
日本側教員等	外国旅費(人/日数) 人/日	外国旅費 千円	外国旅費(人/日数) 人/日	外国旅費 千円	外国旅費(人/日数) 人/日	外国旅費 千円
	国内旅費(人/日数) 人/日	国内旅費 千円	国内旅費(人/日数) 人/日	国内旅費 千円	国内旅費(人/日数) 人/日	国内旅費 千円
	小計②	千円	小計②	千円	小計②	千円
セミナー開催費	日本開催： 回 参加人数： ・日本(人/日数) 人/日 ・ドイツ(人) 人	セミナー開催経費 千円 内訳 会議費 千円 謝金 千円 その他 千円	日本開催： 回 参加人数： ・日本(人/日数) 人/日 ・ドイツ(人) 人	セミナー開催経費 千円 内訳 会議費 千円 謝金 千円 その他 千円	日本開催： 回 参加人数： ・日本(人/日数) 人/日 ・ドイツ(人) 人	セミナー開催経費 千円 内訳 会議費 千円 謝金 千円 その他 千円
	外国開催： 回 参加人数： ・日本(人/日数) 人/日 ・ドイツ(人) 人		外国開催： 回 参加人数： ・日本(人/日数) 人/日 ・ドイツ(人) 人		外国開催： 回 参加人数： ・日本(人/日数) 人/日 ・ドイツ(人) 人	
	小計③	千円	小計③	千円	小計③	千円
その他	その他 (物品費、謝金、印刷製本費、通信運搬費、雑役務費等)	内訳 物品費 千円 謝金 千円 その他 千円	その他 (物品費、謝金、印刷製本費、通信運搬費、雑役務費等)	内訳 物品費 千円 謝金 千円 その他 千円	その他 (物品費、謝金、印刷製本費、通信運搬費、雑役務費等)	内訳 物品費 千円 謝金 千円 その他 千円
	小計④	千円	小計④	千円	小計④	千円
合計	①+②+③+④	千円	①+②+③+④	千円	①+②+③+④	千円

(注意) 1 各経費の使途等については、別紙1「日独共同大学院プログラム 経費の取扱いについて」を参照してください。

2 外国旅費及び国内旅費について、各大学で定めた規定に基づき算出してください。

3 外国旅費及び国内旅費の合計額は、当該年度経費総額の80%以上である必要があります。

4 各年度の支給合計額は、15,000千円を上限とします。

5 セミナー出席に伴う旅費は、旅費に係る欄に記入してください。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

	平成 3 2 年度		平成 3 3 年度	
	計 画	経費 (概算)	計 画	経費 (概算)
日本側大学院学生	外国旅費 (人/日数) 人/日	外国旅費 千円 国内旅費 千円	外国旅費 (人/日数) 人/日 国内旅費 (人/日数) 人/日	外国旅費 千円 国内旅費 千円
	国内旅費 (人/日数) 人/日			
	小計①	千円	小計①	千円
日本側教員等	外国旅費 (人/日数) 人/日	外国旅費 千円 国内旅費 千円	外国旅費 (人/日数) 人/日 国内旅費 (人/日数) 人/日	外国旅費 千円 国内旅費 千円
	国内旅費 (人/日数) 人/日			
	小計②	千円	小計②	千円
セミナー開催費	日本開催： 回 参加人数： ・日本 (人/日数) 人/日 ・ドイツ (人) 人	セミナー開催経費 千円 内訳 会議費 千円 謝金 千円 その他 千円	日本開催： 回 参加人数： ・日本 (人/日数) 人/日 ・ドイツ (人) 人	セミナー開催経費 千円 内訳 会議費 千円 謝金 千円 その他 千円
	外国開催： 回 参加人数： ・日本 (人/日数) 人/日 ・ドイツ (人) 人		外国開催： 回 参加人数： ・日本 (人/日数) 人/日 ・ドイツ (人) 人	
	小計③	千円	小計③	千円
その他	その他 (物品費、謝金、印刷製本費、通信運搬費、雑役務費等)	内訳 物品費 千円 謝金 千円 その他 千円	その他 (物品費、謝金、印刷製本費、通信運搬費、雑役務費等)	内訳 物品費 千円 謝金 千円 その他 千円
	小計④	千円	小計④	千円
合計	①+②+③+④	千円	①+②+③+④	千円

- (注意) 1 各経費の用途等については、別紙 1「日独共同大学院プログラム 経費の取扱いについて」を参照してください。
2 外国旅費及び国内旅費について、各大学で定めた規定に基づき算出してください。
3 外国旅費及び国内旅費の合計額は、当該年度経費総額の 80%以上である必要があります。
4 各年度の支給合計額は、15,000千円を上限とします。
5 セミナー出席に伴う旅費は、旅費に係る欄に記入してください。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

(2) (1)以外の日本側の主要財源（本会の国際交流事業を除く）

- ① 「主要財源」とは、プロジェクトの研究交流活動に使用することができる大学独自の特別配分経費、科学研究費補助金、その他の補助金等をいいます。
- ② プロジェクト実施期間中に係る主要財源を対象とし、「期間」欄には該当する年度を記入してください。なお、現在申請中または将来申請を計画している場合もその旨「備考」欄に併記のうえ記入してください。
- ③ 科学研究費補助金については、その種目及び課題名を「備考」欄に記入してください。

財源の種類	金額（千円）	期 間	備 考

1 2. 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本欄には、研究計画を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策や措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続きの状況も具体的に記述してください。

- ①該当あり () 該当がある場合には左記に○印を付した上、対応を下記に記入してください。
 ②該当なし () 該当がない場合には左記に○印を付してください。

日独共同大学院プログラム (Japanese-German Graduate Externship) 申請書

13. 事務総括部・課の連絡先

※申請に係る事務連絡先となります。

事務総括部課名	
所在地	〒
責任者名 職名 電話番号 ファックス番号 Email	
担当者名 職名 電話番号 ファックス番号 Email	